

コード	301030125
記入日	H21.6.9

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永重利
担当者	道下智章

事務事業事後評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	滞納整理支援システム導入事業	事業種類	単年度事業
		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	1
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	2
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010301	事務事業名称	国民健康保険特別会計事業費	細目コード	539
関連計画		法令・条例規則等	国民健康保険法		

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。							
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標				
(対象1) 国保世帯数			(対象指標1) 5,000世帯(H21.3.31)				
(対象2)			(対象指標2)				
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
(全体)		(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
			***	***	***	システム導入数1台÷予定導入数1台	***
滞納整理支援システムの導入		滞納整理支援システムの導入	① システム導入数	1式	100%		平成20年度
			(達成率分析)	予定どおりシステムを導入することができた。			
			②				
			(達成率分析)				
目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
			(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
			***	***	***	収納率実績9.37%÷目標収納率12%	***
滞納整理支援システムの導入により、効率的な収納及び滞納処分を行い、収納率の向上を図る。			① 滞納繰越分収納率	9.37%	78.1%		平成20年度
			(達成率分析)	システム導入が年度末なので、その成果は翌年度以降に現れる			
			②				
			(達成率分析)				

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。						
	単位	全体計画	H 20 ~ H 20	平成19年度以前	平成20年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	①	式	1	1	1	1
	②					
成果指標	①	%	12	9.37	12	9.37
	②					
総事業費C(A+B)		千円	4,988	4,725	4,988	4,725
直接事業費A		千円	4,988	4,725	4,988	4,725
人件費B		千円				
内訳	従事職員数	人				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円	2,526	2,362	2,526	2,362
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源		千円	2,462	2,363	2,462	2,363

コード 301030125

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	町税の収納は行政の最も重要な業務の一つである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由	収納システム及び滞納整理システムの一本化により効率のよい業務が実施される。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由	国保世帯の滞納整理により効率的な収納、滞納処分が行われる。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由	システム導入により今後の効率的な収納が期待される。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	システム導入により今後の効率的な収納が期待される。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	システムの本一化がされず、効率的な収納が行われない。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	類似事業なし
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	適正に処理されている。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由	人件費なし
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由	国保税の収納に関する事業なので、国保特別会計からの支出は適当である。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 システムの導入により、より効率的な収納がなされ、収納率のアップにつながるようになるための、システムの有効な利用が望まれる。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 先進地などの情報を収集し、より効率的な事務を図る。
2次評価	今後、システムの有効利用を図り、滞納整理を効率的に行いながら、保険料の徴収に努め、保険制度の安定化を図っていくこと。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。